

#NICE

Numazu association for International Communications & Exchanges

Vol.68

発行日 2009年1月27日
発行者 NICE 沼津国際交流協会
(企画広報部会)
所在地 沼津市御幸町16番1号
(事務局) 沼津市役所地域づくり推進課国際交流室内
☎055-934-4717



みんなで参加！ ENJOY国際交流

ふれあい部会

国際交流フェア開催

晩秋の11月16日(日)に、島郷の「学習院沼津游泳場」で国際交流フェア(来場者300人)が開催されました。早いもので、この場所をお借りしてからの国際交流フェアは7回目を迎えました。協力してくださる外国ブースの方たち、各協力団体、スタッフも会場にすっかり慣れ、前日の準備は順調に進んでいました。

しかし、一番の気掛かりは雨天時の屋外の舞台演出。予報は雨、簡便な雨除けをスタッフで作成していましたが、やはり当日は今にも雨が落ちてきそうな中でのスタートとなりました。



11時30分よりオープニングセレモニーが始まり、早くから開始を待ちわびていたお客様が、趣向の凝らした15のブースを次々と覗いたり、体験したりしています。外国のブースは9つ。

台湾の渡辺スーチンさんはとても小さい茶器での台湾茶と花樹の実など。

トルコの小宮山ハミエットさんは、ヨーグルト入りクッキーとトルコティー。

インドの石井シュクリシュナさんは、本場のカレーを数日かけて料理し。

イランのアマザデ・モハメドさんは羊肉が入

り香辛料の効いた野菜スープとイラン紅茶。

ペルーのハラ・ケイラさんはボカディトス料理。エンパナダは牛肉と玉葱を塩胡椒で…アルファホルは牛乳とコンデンスミルク入り甘いスープ。



インドネシアの作野アイニーさんは、セモリアヤムという鶏肉と春雨とじゃが芋入りのスープ。それぞれがお国の民族衣装を着てのおもてなしでした。ブースを飾り来場者と交流し、異国情緒に溢れていました。

ロシアのブースは、戸田と交流があるロシアのナターリア・マクシモヴァさんの絵を展示。彼女は日露友好に尽力した功績で、麻生総理大臣が外務大臣当時に表彰されました。





日本のブースは、増田香苗さんの煎茶道・井口八千喜さんの書道・渡辺富鳳さんの箏曲・井出和子さんの着装。そして、金子星玉さんの華道です。各ブースは大盛況でした。



他のブースは各部会の展示です。カラマズー部会は姉妹都市アメリカ・カラマズー市、岳陽部会は友好都市中国・岳陽市との交流と歴史を展示、そして国際理解教育部会・企画広報部会・このフェア担当のふれあい部会は、それぞれの活動を、今年初めての試みで、プロジェクターを使って大きな画面に映し出しました。それぞれ活気があり、和やかに時間が過ぎていきましたが、やはり空からポツリポツリと落ちてきました。ステージ出演の方々、進行するスタッフも気が気ではありませんでした。

13時スタートのステージはそれぞれのお国独特の踊りと音楽を披露、花柳瑞寿美さん門下生の日本舞踊は「鞠と殿様」など子供たちがとても可愛く、高崎真弓さんたちのハワイアンダンスでは入場の際の足元が雨で濡れていて心配。渡辺富鳳



さん門下生は「千の風になって」など現代音を交えた箏曲演奏に心を奪われ、インドのダグールダンスは、とても神秘的で優美な踊りでした。

ペルーの「Valicha」は耳慣れた「コンドルは飛んでいく」の音楽にあわせ刺繍のすばらしい衣装で激しく踊り、最後のステージはイランの「Rakus」で、お嬢さんと二人で息のあったダンスを披露してくれました。その後アンコールに応じてアマザデ・モハメドさんが、同郷の人たちにも声をかけ、会場からの飛び入り参加もあって、たのしく舞台が盛り上がりました。心配した雨も、ステージの邪魔にならない程度の降りですべて無事フェアが終了しました。



ご協力頂きました皆様に心より感謝申し上げます、有難うございました。

「11月は国際交流フェアに、学習院沼津游泳場へ行きましょう!!」こんな声があちらこちらから聞こえてくればうれしいなと思いました。

国際スポーツ交流会

- と き 2009年3月1日(日) 13:00~16:00
- ところ 勤労者体育センター
(沼津市民文化センター東側)
- 内 容 バスケットボール、バレーボール
バドミントン、その他ゲームなど
- 定 員 日本人50人、外国人50人 先着順
- 参加費 無料(但し、駐車場は有料です)
- 持ち物 体育館シューズ、タオル
- 申 込 NICE沼津国際交流協会
(Tel 055-934-4717)

国際理解教育部会

第17回 スピーチコンテスト開催

スピーチコンテストを終えて 岡本昭美

11月9日(日)、沼津市立図書館に於いて「第17回英語&日本語スピーチコンテスト」が開催されました。

今年の出場応募者は昨年度以上に英語の部、日本語の部ともに大幅に超え、20名の枠に37名からの応募があり、厳選なる抽選により決定致しました。

英語の部には高校生から教師までの幅広い年齢層の方々が発表されました。将来の夢、社会問題、日頃感じている事などを取り上げ、コンテストまでの練習量の多さを感じさせられる身振り、手振りを織り交ぜての素晴らしいスピーチとなり、来場者の方からも大きな拍手を頂きました。

日本語の部には、アメリカ、中国、インドネシア、マレーシア、フィリピンと地域に偏らず様々な国の出身者が家族の愛、職業、異文化体験、日本人とのふれあい、信条などを流暢な日本語でスピーチをされました。ひとつひとつの言葉を慎重に選択され、熱く、また穏やかに、そして心に響くスピーチで多くの人々の目を潤ませる事もしばしばでした。



そして、沼津市の姉妹都市であるカラマズー市へ前年度9月より留学していた沼津市立沼津高等学校の曾布川さんが言葉の壁に阻まれながらも、実際よりも1学年上のクラスに編入し、努力されて、無事に現地の高校を卒業された報告がありました。高校生では珍しい卒業ガウンを身に着けての貴重な体験談もとても興味深く、留学経験の無い高校生からの質問にも丁寧に答えてくれていました。

このスピーチコンテストには出場希望の方や

来場者が、回数を重ねる毎に増えてきており、それだけ注目の高いイベントになってきています。私達スタッフ一同は、イベントに参加して下さる皆さんが良い話に出会えたと感じて頂けます様、これからも精一杯のお手伝いをしていきたいと思っております。

来年度の「第18回英語&日本語スピーチコンテスト」に是非多数の方々のお越しをお待ちしております。



コンテストの結果

(英語の部)

- 優勝 大川佳奈恵 “What I Learned”
- 準優勝 杉山 成子 “Working hours”
- 第三位 小野寺順子 “ON-OKURI”

(日本語の部)

- 優勝 ロコウジョウ 『母親』
- 準優勝 バスキ ラーマット 『私の桜』
- 第三位 タンキー チェン
『日本でのカルチャーショック』

Year End Party



毎年恒例のYear End Party、今年は場所を変え、真新しいサンウェルぬまづ4階の広々としたホールに、90名近い参加者を得て開催されました。

まずは、各々が持ち寄ったお国自慢、家庭自慢の美味しいお料理を味わいながらの歓談。おしゃべりの輪があちらにもこちらにも。おなかがいっぱいになったところで、お楽しみが始まりました。NICE英会話教室講師のエリーサ先生によるアクションゲームに笑い、黒でピシッと決めた天地賢龍さんのマジックショーに目を奪われ、ショコラStyleの皆さんの軽快なダンスに歓声を上げ、会場は大いに盛り上がりました。そして更にピンゴゲームと続き、最後は全員で投票した仮装コンテストの結果発表。入賞者たちは、見事なポインセチアを贈られ、とてもうれしそうでした。12月半ばの寒い夜でしたが、参加者は新しい出会いや仲間との楽しい語らいに、身も心も温まって帰途についたことでしょう。



岳陽部会

岳陽市から教育研修生来沼

9月1日から3ヶ月間、沼津市立高校を拠点に、市内小中学校への学校訪問や、一般市民を対象とした岳陽講座など、多くの市民の皆様と交流し、沼津と岳陽の友好を深めました。

1) 学校訪問

小中学校5校を訪問して、それぞれの学校で教壇に立ち、子供たちに岳陽や中国の子供たちの生活などを紹介しました。

中国では1クラスの人数が70人もいること、家に帰って昼食をたべ、昼寝をしてからまた登校すること、部活動はないことなど、日本との違いに驚いていました。

また、生徒たちからは、中国の子供たちはアニメや漫画を見ているのか、どんなゲームが行っているのかなどの質問がありました。



2) 岳陽講座

第1回 「中国菓子茶話会」 10月12日
 第四地区センター 参加者20人
 研修生とともに、馬拉糕（蒸カステラ）と杏仁餅（アーモンドクッキー）を作り、それを食べながら、岳陽の特産品である君山銀針茶をいただき、交流をしました。

第2回 「面白い中国語講座」 11月13日
 文化センター第3練習室 参加者52人
 研修生が講師をつとめ、前半は洞庭湖、岳陽楼、端午の節句や竜船競争の由来ともなった屈原の話など、岳陽市の紹介をしました。

後半は面白い中国語として、手紙=トイレ
 ットペーパー・愛人=配偶者・汽車=自動車
 など同じ漢字を使いながら、中国と日本では意味がまったく違うことや、外国の国名表記、外来語の表記などクイズ形式で参加者に答え

てもらするなど、大変盛り上がりました。



太極拳教室に参加して 勝又洋子

年齢を重ねるごとに身体を動かすことの大事さを感じ、二度目ですが応募致しました。先生方のできばきした説明と御指導により再度の受講で何となく「八式入門太極拳」の意味が解かったかな？という鈍さですが講座のありがたさを感じました。伝統的な太極拳を通して良いところは見習い交流が深まることを望んでいます。

春を迎える歓び(旧正月)を皆で祝おう

第17回 春節祭

とき 平成21年2月11日(祝)
 午前10時～午後4時
 ところ キラメッセぬまづ
 催し物 舞台・展示・軽食

皆様の御来場をお待ちしております。
 尚、当日お手伝い頂ける方を多数募集いたしております、おいで頂ける方は事務局まで御連絡ください。(Tel 055-934-4717)